

近松の里たちまち・まちづくりビジョン

～住民自らが、考え・実践・発信する個性あふれるまちづくり～



【計画策定の経過】

令和7年 7月23日(水) 第1回策定委員会
令和7年 9月25日(木) 全戸対象に立待地区まちづくりに関するアンケートを実施
令和7年12月10日(水) 第2回策定委員会
令和8年 1月10日(土) 第1回ワークショップ
令和8年 2月 7日(土) 第2回ワークショップ
令和8年 3月 7日(土) 第3回策定委員会

計画年度 令和8年度～令和10年度

主催：近松の里づくり事業推進会議・立待まちづくり計画策定委員会

みんなが 夢見る 心豊かで 温かな まち「近松の里」たちまち

歴史的資源があふれるまち 「近松の里」

【アンケート調査で浮き彫りになった課題】

- ・地域行事において若者の参加が少ない、若者が活躍 / 交流できる仕組みが少ない・日常生活の利便性を高める商業施設や店舗の不足。
- ・若者や子どもの居場所が不足している / 集う・つなげる場の創出(近松の文化を次世代に)

【現在・今後の取り組み】

- ・立待地区「はたちのつどい」で全員に「近松の里たちまちガイドブック」を配布して地区の魅力をPR。ボランティア登録を依頼。
- ・「たちまち近松まつり」で、子どもや若者が集まるような催し物を実施。(若者の意見を取り入れる)
- ・鯖江人形浄瑠璃「近松座」や「近松おどり保存会」、「たちまち子ども文楽」、「たちまち近松人形劇団」が活動しやすいための環境整備。
- ・子どもたちの居場所づくり、地区の文化(近松・文楽・石田縞・二葉葵等)の発信拠点として、市と協議し、旧JA鯖江北支店の活用を検討。
- ・住民一人ひとりが広告塔としての情報発信・定期的に”自分たちのまち”について考えるワークショップの開催
- ・まちづくり計画の円滑な実施のための(仮称)まちづくりサポーターの&若者サポーター創設



安心して 子育てができるまち 「近松の里」

【アンケート調査で浮き彫りになった課題】

- ・組織 / 活動の参加者減 / 「子どもの室内遊び場」や「放課後の居場所(学童・児童館)」の不足。
- ・福祉、子育て関係の事業者がわからない、情報が足りない。

【現在・今後の取り組み】

- ・福祉、子育て関係の事業者をリストアップして情報発信。(事業者・活動内容・場所等)
- ・「こどものびのびひろば」の充実。
- ・市と協議し、旧JA鯖江北支店を子どもたちの居場所や保護者と児童の待ち合わせ場所、住民同士コミュニケーションの場、子ども食堂としての利用の検討。
- ・自然豊かな大谷公園で身も心もリフレッシュできる事業の実施。



安心して行き来できる 明るいまち「近松の里」

【アンケート調査で浮き彫りになった課題】

- ・運転免許を返納した後の高齢者が利用できる交通手段への不安 / 公共交通の利便性向上 / 通学路の危険箇所の把握、街灯が少ない。

【現在・今後の取り組み】

- ・買い物支援・食事支援や有償による支援等の情報を掲載して全戸配布している「たちまち暮らしのサービスガイド」の充実。
- ・地区社会福祉協議会を中心に、一般ドライバーが自家用車で高齢者等を買い物や病院に輸送するライドシェア事業の立ち上げを検討。
- ・通学路の危険箇所や街頭が少ない箇所についての情報収集と関係機関への改善要望。
- ・旧JA鯖江北支店駐車場を交通弱者が利用しやすい、移動店舗の定期的な開設や情報、地区の農家が野菜などを販売できる場所として活用。

災害に強く、安全なまち 「近松の里」

【アンケート調査で浮き彫りになった課題】

- ・人材確保や継続方法の困難さ / 訓練の重要性等の情報発信の問題 / 小学生登下校時の見守り隊の減少

【現在・今後の取り組み】

- ・防災講演会の開催や特に子どもたちが楽しく参加できる防災訓練の実施。
- ・自主防災組織や個別避難計画等防災にまつわる町内の情報を共有。
- ・令和6年度に開始した「お散歩・ジョギング見守り隊」の普及。
- ・浸水害土砂災害など災害発生時の行動計画となる「立待地区防災ロードマップ」の策定



Q1. 「立待地区の魅力や宝は何ですか？」

- ① 近松門左衛門・歴史・文化
- ② 豊かな自然環境と住民の憩いの場となっている公園・河川
- ③ そこに住む「人」や地域内の「繋がり」・温かい人情



Q2. 「立待地区に足りないものは何ですか？」

- ① 商業施設・店舗の充実(買い物・飲食店・医療機関など)
- ② 若者や子どもたちの居場所・地域活動への参加
- ③ 交通インフラの整備と安全性(公共交通・交通安全)



Q3. 「立待地区が開催しているイベントについてどう思われますか？」

- ① 肯定的・好意的な評価(楽しい、有意義、賑やか)
- ② 運営の課題(メンバーの固定化、役員の負担、マンネリ化)
- ③ 周知・情報発信の不足と若年層への配慮



全戸対象に実施した立待地区まちづくりアンケート調査結果

【防災】

- ① 災害に強く、住民同士が助け合えるコミュニティ
- ② 通学路および道路環境の安全確保
- ③ 治安が良く、犯罪のない安心なまち

【福祉・子育て】

- ① 子どもたちがのびのびと育ち、遊び場がある環境
- ② 高齢者が孤立せず、安心して住み続けられる福祉
- ③ 若者が住み続けたい、戻ってきたいと思える地区

Q6. 「あなたが思い描く立待地区の将来像は？」

【文化・賑わい】

- ① 歴史と文化の継承(近松の里・伝統芸能)
- ② イベントによる賑わいと地区外へのアピール
- ③ 多世代・新旧住民の交流と和気あいあいとした雰囲気

【食・交通】

- ① 日常生活に困らない商業施設(スーパー・飲食店)の充実
- ② 公共交通・移動手段の確保(特に高齢者向け)
- ③ 地産地消・地域の食文化の活用



Q4. 「立待地区まちづくり計画にはどのような分野を反映させた方がいいですか？」

- ① 子育て(子どもが安心して過ごせる仕組みづくり)
- ② 賑わい(多世代が交流することで地区全体を盛り上げたい)
- ③ 文化(近松等の歴史的資産の継承、地場産業を活かしたまちづくり)

Q5. 前問(どのような分野を反映させた方がいいですか)で「その他」を選ばれた方

- ① 若者・子どもの視点や意見の反映
- ② 安全・防犯・道路整備(特に通学路の安全確保)
- ③ 拠点施設(公民館・公園)の機能強化と活用
- ④ 地域資源の活用と発信(文化・伝統・産業・自衛隊)
- ⑤ 住民参加型の仕組みづくりと課題解決

協働して「自分たちのまち」を創っていきます。

立待地区 団体名
区長会 / スポーツ協会
青少年育成協議会
社会福祉協議会
スポーツ少年団
老人クラブ連合会
壮年連合会 / 防犯隊
婦人会 / 愛育会 / e-net.立待
消防団立待・石田分団
交通安全協会 / 防災協議会
子育て支援ネットワーク
食生活改善推進委員会
赤十字奉仕団 立待分団

